

本書は、入退室管理システム デイリPLUS (以下デイリPLUSと表わします) のコンパクトフラッシュ交換によるバージョンアップの手順を記載したものです。

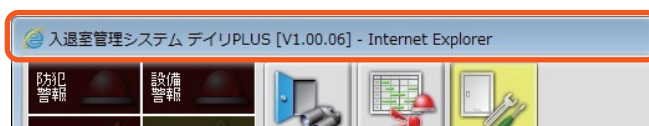
本書は、以下の条件のデイリPLUSに適用可能です。

項 目	要 件
ソフトバージョン	1.00.06以上
ネットワーク2 IPアドレス	192.168.0.245
ネットワーク1 IPアドレス	イントラネット等(お客様IPアドレス)からPC接続

事前確認

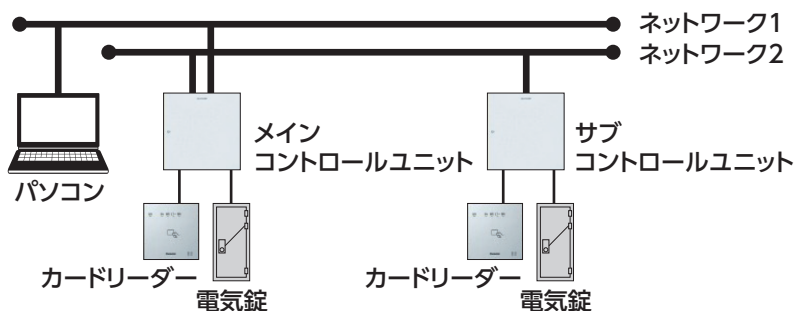
①バージョンの確認

デイリPLUSのバージョンが**1.00.06以上**であることを確認してください。
バージョンは、お使いの画面のタイトルバーに表示されています。



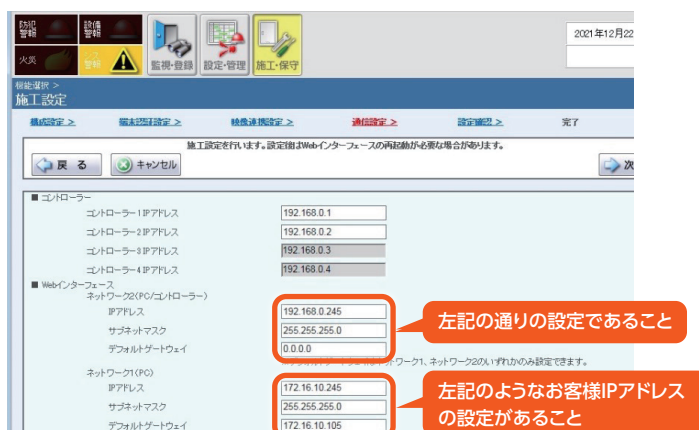
②ネットワーク(IPアドレス)の確認

デイリPLUSに設定しているIPアドレスにより、作業手順が異なりますので、以下の内容を確認してください。



施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、施工設定画面の通信設定が右記のように、ネットワーク2とネットワーク1側にもIPアドレス設定があることを確認してください。

設定値は必ず記録しておいてください。



デイリPLUSのバージョンアップにあたり以下の注意事項がありますので、事前にご確認ください。

注意事項

- ①納入後7年以上経過しているコントロールユニットは、アップデートできません。リプレイスを検討ください。

- ②バージョンアップのためのコンパクトフラッシュは、事前にご購入ください。

品番：E-A530-Z0001

デイリPLUSをご購入頂いた業者または施工店にご用命ください。

- ③過去履歴は移行できません。

過去履歴(直近の1万件以前の履歴)は移行できません。必要な場合は、事前にCSVファイルに出力・保存してください。

取扱説明書 操作画面編の「5.4 過去履歴検索・表示」を参照ください。

- ④作業中、カード認証・電気錠の施解錠が行えません。

メインコントロールユニットの電源をOFFしている間、メインコントロールユニットに接続されたカードリーダー、電気錠が動作しません。また、電気錠の種類によっては解錠状態になります。(通電時施錠型の電気錠の場合、解錠されます)

- ⑤作業用パソコンをご用意ください。

IPアドレス192.168.0.245に接続できるように設定した作業用パソコンを使用して、CF交換後にIPアドレス設定と時刻設定を行います。

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」を参照ください。

- ⑥取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。

デイリPLUSに同梱されている取扱説明書(導入ガイド)をご用意ください。
作業に必要なログインユーザー名、パスワードが記載されています。

バージョンアップ手順

1

システムデータ取得

システムデータを取得します。

通常使用しているネットワーク1に接続されているパソコン(以下、ユーザーPC)にて、施工・保守用のオペレータIDでログイン(付録1参照)して、システムデータを取得します。

設定・管理メニューの「システムデータバックアップ」アイコン(図1)をクリックし、システムデータをバックアップ(ファイル保存)してください(図2)。

作業目安: 8~20分



図1 設定・管理メニュー

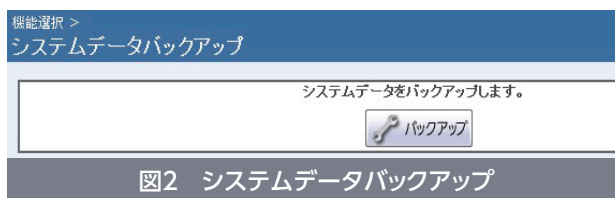


図2 システムデータバックアップ

2

コンパクトフラッシュの交換

2-1

「設定・管理」の「再起動・終了」よりシステム終了します。

「設定・管理」メニューの「再起動・終了」アイコン(図1)をクリックし、「終了」(図3)をクリックします。



図3 システム終了

2-2

メインコントロールユニットの扉を開け、メモリバックアップ電池・停電補償電池のコネクターを抜きます。メモリバックアップ電池は、2-6.で2分以上空けてから繋ぎます。

写真1の○印のコネクターを抜きます。

×印の電池は抜かないでください。

メインコントロールユニットだけの作業です。

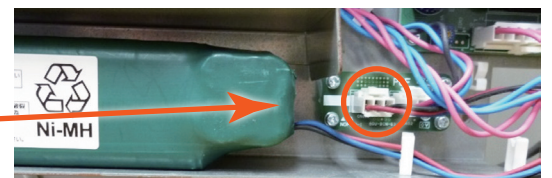
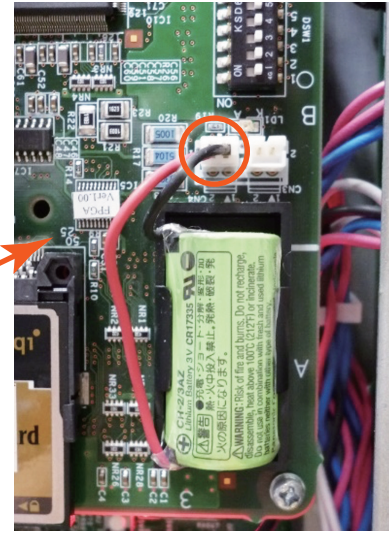
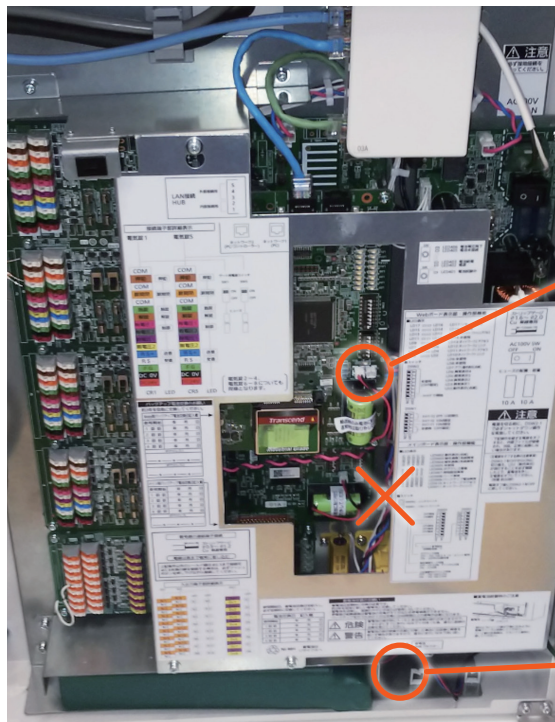


写真1 電池

2-3

ネットワーク2(左側)に挿さっているLANケーブルを抜き、作業用PCとつながっているLANケーブルを挿します。

4-2.で元に戻しますので、LANケーブルの接続状態の写真を撮っておくことをお勧めします。

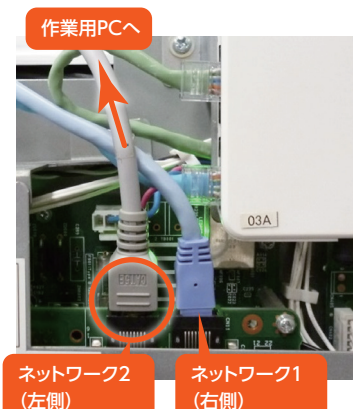
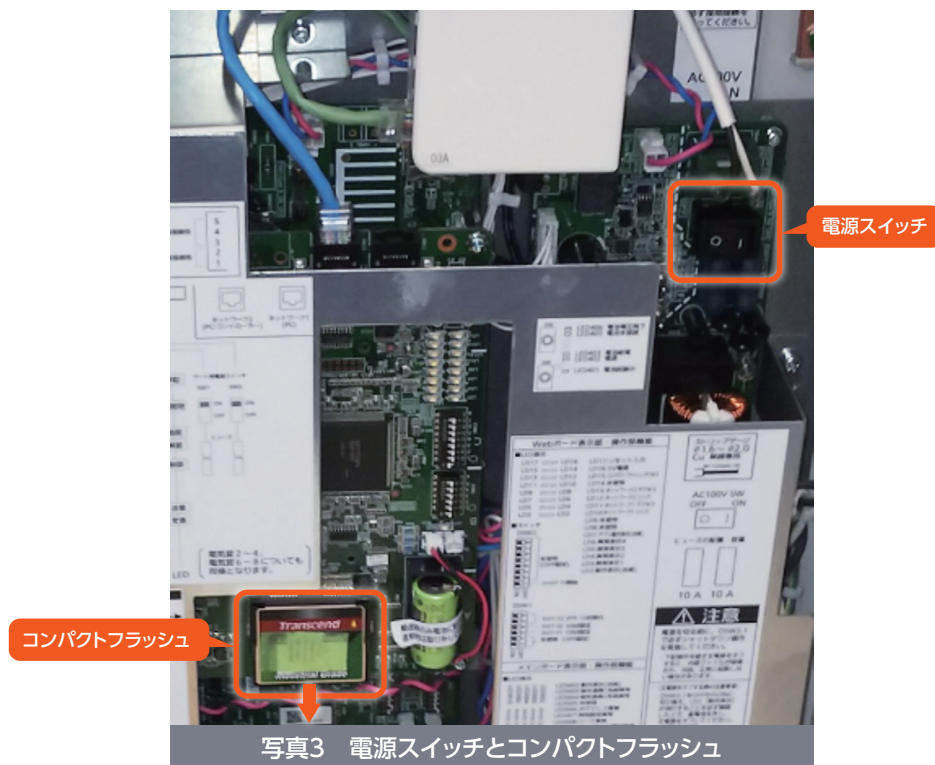


写真2 LANケーブル

2-4

メインボードの電源スイッチをOFFします。

写真3の電源スイッチをOFFします。



2-5

コンパクトフラッシュ(CF)を交換します。

写真3のコンパクトフラッシュを、両側のCFスロットガイドに沿って真下にゆっくり引き抜きます。次に新しく購入したコンパクトフラッシュを両側のCFスロットガイドに沿って真下からゆっくり押し込みます。

この時、本体側のCFスロットガイドやガイドピンを折らない(曲げない)ように慎重にまっすぐ押し込んでください。

2-6

2-2.で抜いた停電補償電池・メモリバックアップ電池のコネクターを挿します。

挿し込む順番はありませんが、メモリバックアップ電池は、抜いてから必ず2分以上あけてから挿してください。

2-7

メインボードの電源スイッチをONします。

写真3の電源スイッチをONします。

3

3-1

初期設定（時刻設定、IPアドレス設定）

再起動の完了（約3～5分）を待ち、**作業用パソコン**より「192.168.0.245」に、**施工・保守用のオペレータID**でログイン（付録1参照）します。



図4 施工・保守メニュー

正しく画面が表示されない場合は、Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」
「Internet Explorerの閲覧データをクリアする」を実施してください。

3-2

「施工・保守」の「時計設定」(図4)で日時を設定します。

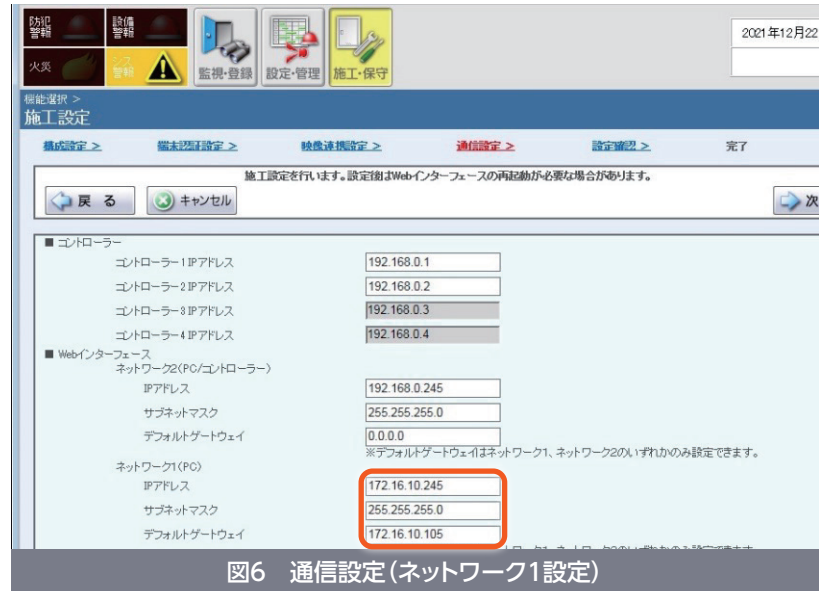
2015年1月1日0:00になりますので、必ず現在日時に設定してください。パソコンの時計が合っていれば、「パソコンの年月日時刻を取得して入力」をクリックし、設定すると便利です。



図5 時計設定

3-3

「施工・保守」-「施工設定」の通信設定で、ネットワーク1 (PC) のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを元の設定値 (お客様IP) に書き換えます。



3-4

設定を保存して、Webインターフェースの再起動を行います。



作業用PCでの作業は終了です。以降はユーザーPCを使用します。

4

4-1

システムデータの復旧

再起動の完了(約3～5分)を待ち、**ユーザーPC**にて**施工・保守用のオペレータID**でログイン(付録1参照)し、「**施工・保守**」の「**システムデータリストア**」(図8)で**システムデータを復元**します。

画面の指示に従って、1.システムデータ取得で保存したファイル(sys_backup.tar.gz)をアップロード→リストア→再起動してください。

作業目安:5～10分



図8 システムデータリストア

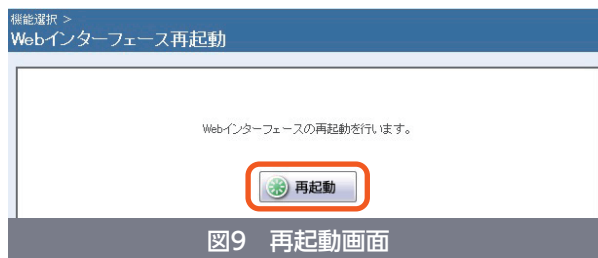


図9 再起動画面

『**他の処理を実行中ですが、Webインターフェースを再起動します。よろしいですか?**』というメッセージが出た場合は、「**OK**」を押してください。

4-2

再起動が完了(約3～5分)し、ログイン可能になったら、作業用PCとつながっているLANケーブルを抜き、メインボード、他のコントロールユニットと接続しているLANケーブルを元通り接続します。

2-3.で繋ぎ変えたLANケーブルを元に戻します。
メインコントロールユニットの扉を閉めてください。



写真4 LANケーブル

5

5-1

動作確認

「施工・保守」メニューのコントローラー管理(図10)の画面を開き、接続状態と設定データがOKになることを確認してください。
「状態更新」ボタンで表示を更新します。

作業目安:5~20分



すべて選択		選択解除		データ時刻: 2015年01月15日 10:10		状態更新	
選択	ユニット番号	名称	コントローラー種別	接続状態	設定データ		
<input type="checkbox"/>	001	コントローラー-1	電気線CTL	OK	OK		
<input type="checkbox"/>	002	コントローラー-2	電気線CTL	OK	OK		

図11 コントローラー管理の確認

5-2

「監視・登録」メニューの警報画面(図12)を開き、異常が発生していない(CTL通信異常、タンパ異常等が復旧している)ことを確認してください。



5-3

「監視・登録」メニューの最新履歴(図12)画面を開き、履歴が記録されていることを確認してください。

5-4

「施工・保守」メニューのメンテナンスモード画面(図13)を開き、メンテナンスモードを無効化します。



図13 メンテナンスモード

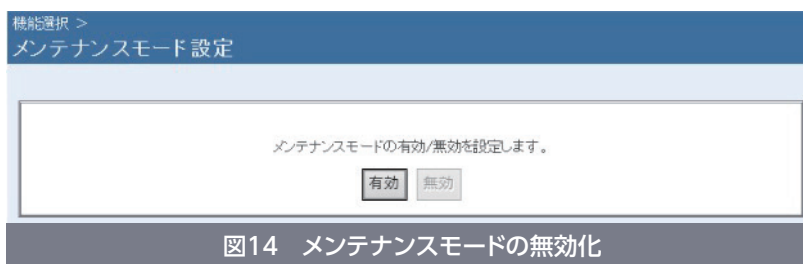


図14 メンテナンスモードの無効化

6

Microsoft Edgeの設定

6-1

(従来のPCを継続利用する場合)
現在Microsoft EdgeのIEモードで使用中の場合は、
別紙 IEモード解除手順書を参照いただき、解除します。

6-2

(従来のPCを継続する場合、新しいPCを使用する場合共通)
別紙 Microsoft Edge設定手順書を参照いただき、ブラウザ設定を実施します。

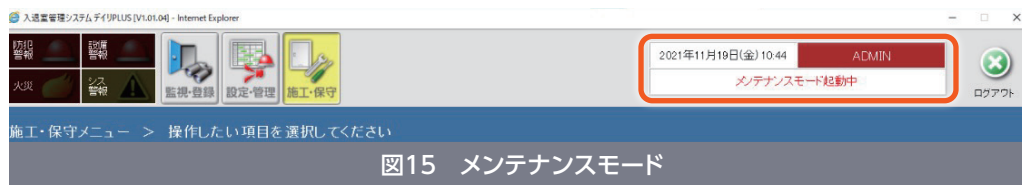
以上

付録1

施工・保守用のオペレータIDでログインできない場合、 「施工・保守」メニューが表示されない場合

取扱説明書(導入ガイド)の「4.2.2 作業用パソコンからWebインターフェースへのアクセス」に記載されたオペレータIDとパスワードでログインする必要があります。

このオペレータでログインするにはメンテナンスモード起動中になっている必要があります。メンテナンスモードになっている場合は、画面右上の日時表示の下にメンテナンスモード起動中と表示されます。(警報発生中は表示されません)



メンテナンスモード起動中となっていない場合は、システム管理者でログインし、「設定・管理」メニューのメンテナンスモード画面よりメンテナンスモードの有効化を行ってください。

システム管理者の初期登録は、取扱説明書(導入ガイド)の「6 基本操作」に記載しています。

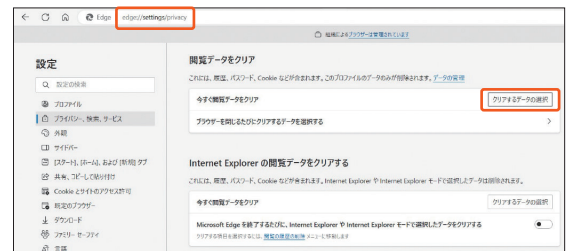
付録2 正しく画面が表示されない場合

Microsoft Edgeの設定画面にて、「閲覧データをクリア」「Internet Explorerの閲覧データをクリアする」を実施してください。

Internet Explorerのキャッシュクリア・Microsoft Edgeのキャッシュクリア

Microsoft Edgeのキャッシュクリア

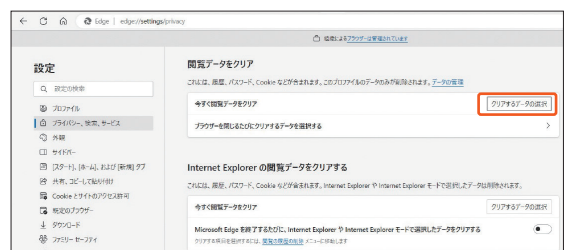
- Microsoft Edgeを起動してURL欄に「edge://settings/privacy」を入力し、Enterキーを押す。
閲覧データをクリアで、「クリアするデータの選択」を押す。



- 時間の範囲で、「すべての期間」を選択する
 - ・「閲覧の履歴」のチェックを外す
 - ・「ダウンロードの履歴」にチェックを付ける
 - ・「Cookieおよびその他のサイトデータ」にチェックを付ける
 - ・「キャッシュされた画像とファイル」にチェックを付ける
 - ・「パスワード」にチェックを付ける
 - ・「オートフィルフォームデータ（フォームやカードを含む）」にチェックを付ける
 - ・「サイトのアクセス許可」にチェックを付ける
 - ・「以前のバージョンのMicrosoft Edgeのすべてのデータ」にチェックを付ける
 - ・「メディアファンデーションデータ」にチェックを付ける

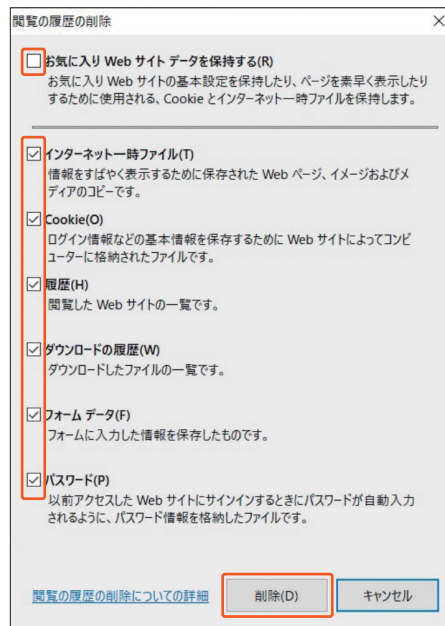


- 01と同じ画面のInternet Explorerの閲覧データをクリアするで、「クリアするデータの選択」を押す



04

- ・「お気に入りWebサイトデータを保持する(R)」のチェックを外す
 - ・「インターネット一時ファイル(T)」にチェックを付ける
 - ・「Cookie(O)」にチェックを付ける
 - ・「履歴(H)」にチェックを付ける
 - ・「ダウンロードの履歴(W)」にチェックを付ける
 - ・「フォームデータ(F)」にチェックを付ける
 - ・「パスワード(P)」にチェックを付ける
- 「削除(D)」を押す



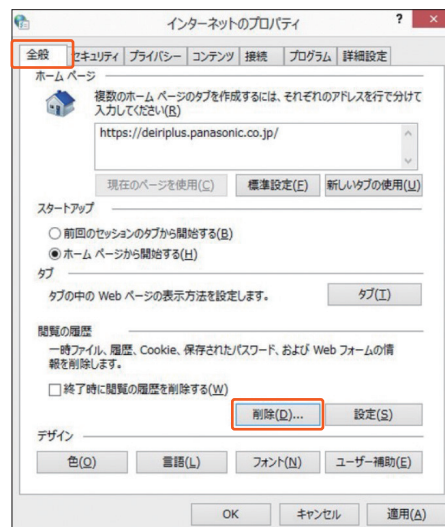
Internet Explorerのキャッシュクリア手順

05

- Windowsのデスクトップでスタートボタンを右クリック (Windows7の場合は、クリック) し、メニューから「コントロールパネル」を開き、以下を開く (「ネットワークとインターネット」→)「インターネットオプション」
- ・Windows10 RS2 以降は、スタートメニューのWindowsシステムツール内の「コントロールパネル」を開きます。

06

- 「全般」タブの「削除」を押す



07

- 「インターネット一時ファイルおよびWebサイトのファイル」にチェックを入れる

08

- 「お気に入りWebサイトデータを保持する」のチェックを外す

09

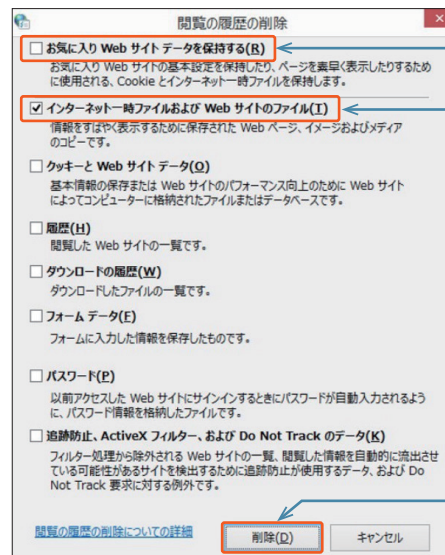
- 「削除」を押す

10

- 「OK」を押す

11

- 「コントロールパネル」画面右上隅の「×」を押し、設定を終了する



07

08

09